

# 展示公開施設の館内環境調査報告—平成6年度—

佐野 千絵・三浦 定俊

保存科学部は博物館・美術館・資料館などの文化財公開施設で、借用など移動を伴う国指定文化財等の展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術工芸課と協力して行っている。その調査の内容については以前に述べたが<sup>1)</sup>、平成5年度からは各館ごとに館の規模や施工時期などについて、あらかじめ定まったフォーマットに従って整理をしている。平成5年度についてはすでに報告したので<sup>2)</sup>、ここでは平成6年度に行った館内環境調査に関して概括する。

集計方法などについては、前報と同じである<sup>2)</sup>。相談件数および相談館数の経時変化、相談館の地域分布、開館時期、借用計画をたてた時期、空気環境調査期間、空気環境調査終了時期と延べ床面積の関係について図示する(図1~6)。また、平成6年度に報告書を書いた37団体38館の基礎データを表1に記す。

表1 調査館の基礎データ

No.	着工	コンクリート 打設時期	竣工	開館	借用時期	空気環境調査	延べ床面積/m <sup>2</sup>	展示面積/m <sup>2</sup>	収蔵面積/m <sup>2</sup>	博/美系	運営母体
1	1991.11	92.9	93.3	93.10	93.10	94.1-3	4,257	1,220	367	博	県
2	1991.7	不明	92.3	92.4	92.5	92.9-93.3	4,140	176	1,570	博	県
3	1991.6	不明	93.6	94.4	94.4	93.8-94.7	11,164	1,770	853	美	県
4	1990.10	不明	94.3	94.7	94.7	93.11-95.11	6,867			博	県
5	1989.7	90.2	90.6	90.11	94.10	90.9-94.7	2,483	854	335	博	市
6	1981.1	不明	81.10	81.11	94.9	94.7	1,150	213	14	美	市
7	1987.9	87.12	88.3	88.11	94.9	94.1-9	401	183	81	博	町
8	1986.8	不明	87.3	87.4	94.10	94.4-7	723	453	75	博	市
9	1991.7	92.6	92.12	93.7	94.10	93.4-94.3	10,723	2,959	1,055	美	県
10	1992.3	93.3	93.12	94.9	94.9	94.2-95.2	5,631			美	市
11	1990.11	92.2	92.11	93.10	94.10	94.6-7	3,202	911	341	美	財
12	1988.2	不明	89.6	89.6	94.8	94.6	5,292			博	国
13	1985.12	86.12	87.3	87.11	94.8	94.5	4,059	600	511	美	区
14	1990.7	91.1	91.6	91.9	94.6	94.6	2,225	716	198	美	財
15	1992.9	93.3	93.10	94.7	94.6	94.5-6	816	233	94	博	町
16	1991.10	93.4	93.11	94.7	95.3	94.4-95.2	14,792			美	県
17	1990.4	不明	91.3	91.11	94.10	94.6-7	489	165	59	博	市
18	1990.7	91.3	91.8	92.4	94.9	91.7-92.9	1,242	309	35	美	財
19	1991.10	不明	92.10	92.10	94.10	92.10-94.3	5,085	1,148	149	美	県
20	1984.10	不明	86.3	87.11	94.10	94.9	2,562	703	565	博	区
21	1988.10	89.5	89.9	90.1	94.10	94.6-8	1,335	488	239	博	区

No.	着工	コンクリート打設時期	竣工	開館	借用時期	空気環境調査	延べ床面積/㎡	展示面積/㎡	収蔵面積/㎡	博/美系	運営母体
22	1992.9	不明	94.4	94.11	94.10	94.2-95.7	10,457			博	県
23	1983.9	84.2	84.3	84.11	94.10	94.8	889	171	98	博	市
24	1990.9	91.9	92.3	92.11	95.1	91.11-92.8	11,330	780	210	博	市
25	1991.9	92.1	92.3	92.10	94.11	94.9	1,643			美	町
26	1992.2	92.12	93.3	94.11	94.11	94.1	286	0	286	博	財
27	1982.2	不明	83.7	84.11	94.8	94.7	3,088	1,293	533	博	市
28	1992.9	93.7	94.8	94.11	95.1	94.4-11	13,000			美	財
29	1990.2	91.5	91.11	91.11	94.6	94.2-3	21,122			美	財
30	1992.9	93.11	94.3	95.10	95.10	94.7-95.2	4,705	657	299	美	市
31	1990.10	91.9	92.7	92.11	95.4	94.12-95.12	3,838	1,750	240	美	財
32	1992.11	93.7	94.3	94.11	95.4	94.4-95.2	5,461	1,680	1,130	博	市
33	1976	不明	76	77.11	95.10	95.2	1,896	1,315	366	博	財
	1987.5	不明	88.10	不明	95.10	95.2	523	408			
34	1993.3	93.12	94.7	95.5	95.5	94.11-95.2	1,442	412	294	美	財
35	1993.2	94.2	94.3	95.4	95.4	94.10-継続中	2,021	773	290	博	市
36	1993.7	94.3	94.8	95.2	96.9	94.9-継続中	2,998			美	財
37	1993.4	93.9	94.2	94.11	95.5	94.9-95.2	1,869	240	17	博	町

1. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。相談件数に関しては、平成5年度のような季節的な特徴はなく、全体に事例数が多かった。10月中旬以降1月までは、件数として減る傾向は、平成5年度と同様であった。博物館・美術館からの相談件数総計は、995件であった。

相談館の地域分布については、平成5年度と同様に、関東・東海・中部・近畿地方に多かった(図2)。

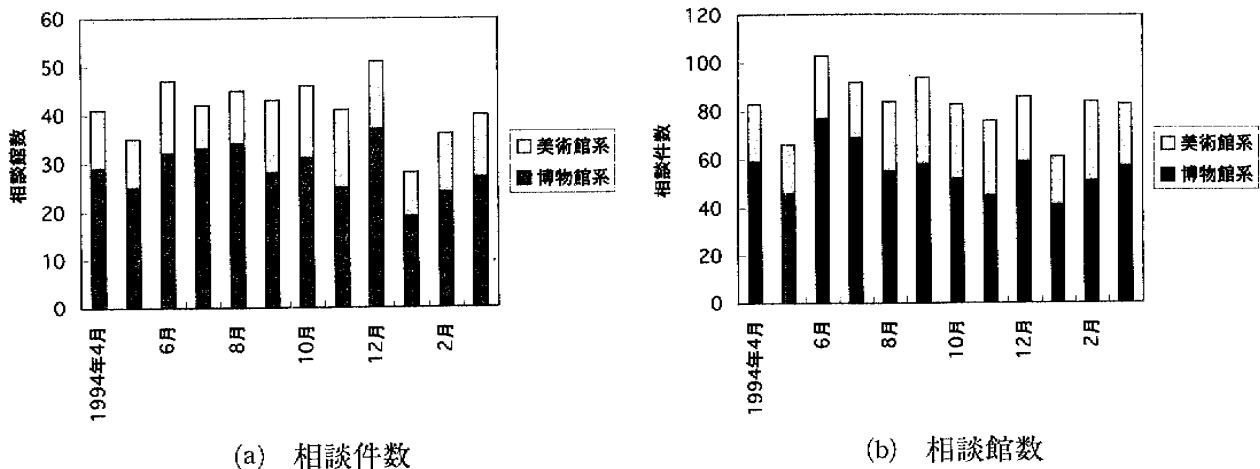


図1 保存環境に関する相談 (平成6年度)

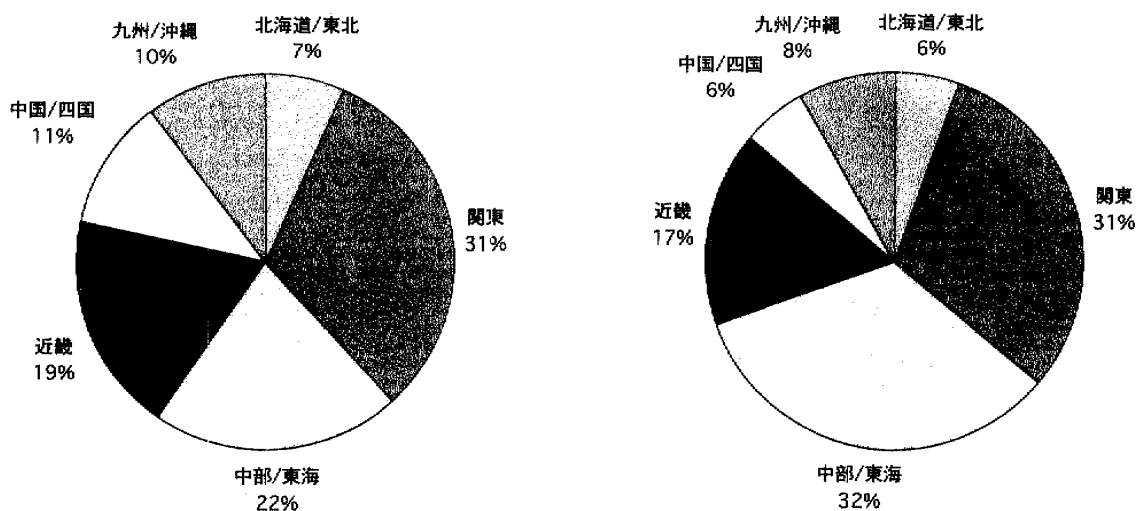
## 2. 平成6年度館内環境調査報告書提出館37団体38カ所の傾向

借用の時期としては、開館時から半年内を目指している館が多く(図3)、そのためか、竣工から開館までの期間は比較的長めであった(図4)。平均は7.6ヶ月であった。

開館時期については、11月がたいへん多かった(図5)。

空気環境調査期間(図6)については、竣工からの期間の短い館ほど長くかかる傾向は変わらず、平均7.8ヶ月であった。

空気環境がアルカリ性から中性に落ちつくのは、平成5年度データの解析結果と同じく、ばらつきはあるものの全体の傾向として床面積によらず、コンクリート打設時期から約20ヶ月であった(図7)。



(a) 相談館全体の地域分布

(b) 平成6年度館内環境調査報告書提出館37館の地域分布

図2 相談館の地域分布(平成6年度)

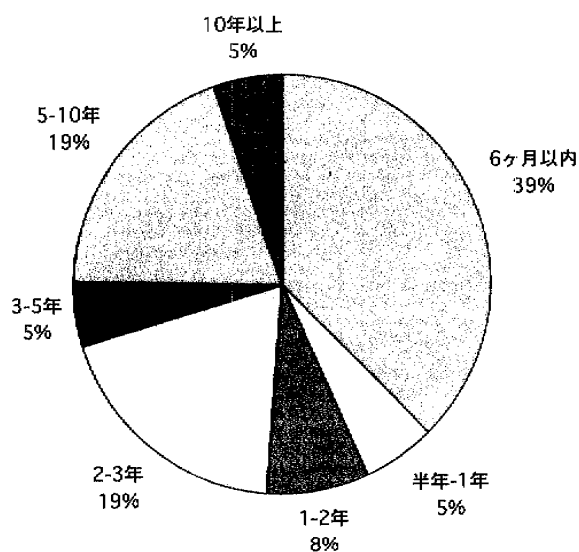


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

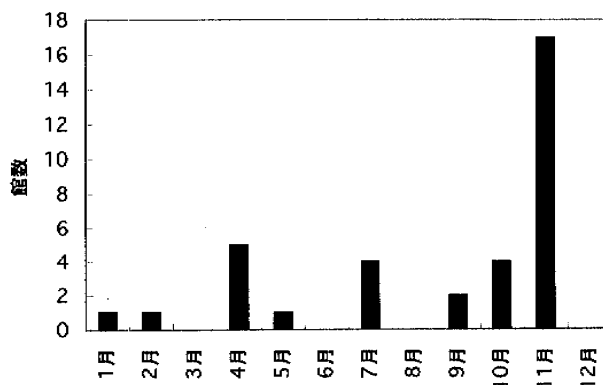


図4 竣工から開館までの期間

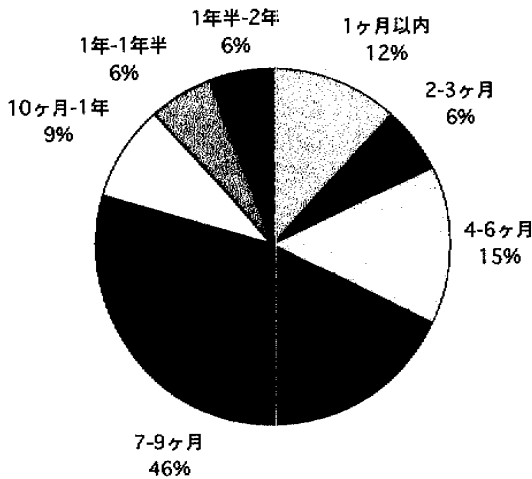


図5 平成6年度館内環境調査報告書提出館37館の開館月

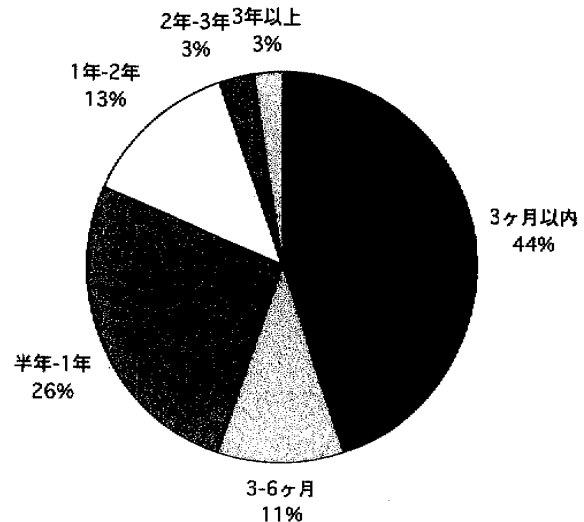


図6 館内空気環境調査期間

### 3. 考察

相談館全体と報告書提出館の両者とも、平成5年度に比べて大きくその数は増えたが、その傾向は平成5年度の統計とほぼ同じであった。ただ次に述べるようにいくつかの点で違いがあった。

まず国指定文化財の借用の時期については、開館からすぐの時期に計画している館が増加した。国指定文化財を借用して展示する場合には館内環境調査が必要なことが文化財関係者に広く理解され、施設設計の段階から相談にくる館が増えてきたことと対応していると考えられる。

開館時期に関しては、平成5年度の統計では4月の開館も多かったのにそれが減少した点が異なっている。減った理由は、安定した館内環境を得るために開館を秋にして、慣らしの期間を十分にとり、開館までにコンクリート打設から二夏を過ごすようにする施設が増えてきたためであろうと判断される。いずれの点についても、公開施設の保存環境について関心が深まってきたことを表していると考えられる。

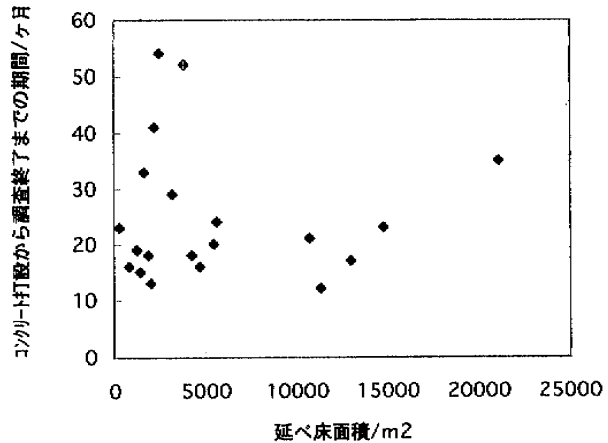


図7 建物の規模とシーズニング期間の関係

### 4. 終わりに

平成7年8月には文化庁文化財保護部から「文化財公開施設の計画に関する指針」と題する手引きが出され<sup>3)</sup>、地方教育委員会や関係団体に配布された。「指針」は施設計画の留意事項だけでなく、施設計画に当たっての事前協議の手順についても参考資料としてあげている。そこには、国指定文化財公開施設の計画者が施設内環境調査を行う際に、文化庁と東京国立文化財研究所保存科学部双方へ依頼する手順について記されている。研究成果を実際に生かすという立場から、我々は今後とも文化庁と共に、各地の公開施設への協力を進めていきたいと考えている。

**参 考 文 献**

- 1) 三浦定俊・佐野千絵・石川陸郎：新設博物館・美術館等における保存環境調査の実際，月刊文化財（平成5年4月号），355号，34-42（1993）
- 2) 佐野千絵・三浦定俊：国指定文化財展示公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示公開施設の館内環境調査から—，月刊文化財（平成7年9月号），384号，4-11（1995）
- 3) 「文化財公開施設の計画に関する指針」，文化庁文化財保護部編（1995），同じ内容で月刊文化財にも掲載あり，月刊文化財（平成7年10月号），385号

## Annual Report 1994—the Inspection of Museums Environment

Chie SANO and Sadatoshi MIURA

In collaboration with the Agency for Cultural Affairs (Bunkacho), the Tokyo National Research Institute of Cultural Properties advises museums how they should design their facilities to have an adequate environment for exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows the results of inspection in 1994.

The number of advice were 995 in 1994. The results of inspection were reported to 38 museums in 1994 for their exhibitions. The analysis of reports showed that it took about 20 months in most museums to get a stable environment for exhibition after concrete placing. This period of 20 months was hardly influenced by the size of museums.